

# 大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)  
(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

## 記

1. 講師 奥羽大学 元教授 嶋倉 道郎 先生
2. 演題 レーザーで何が出来るか？
3. 日時 平成27年9月17日(木)17:00～18:00
4. 場所 歯科棟南4階 歯学部特別講堂
5. 抄録

レーザーとは方向と位相と波長が揃った、人工的に作られた光のことである。この自然光には無い特徴を生かして、DVDプレーヤーを始めとして、光ファイバー、金属材料の加工や溶接、レーザーメスなど様々な分野に応用され、今や我々の生活には欠かすことのできないものとなっている。歯科医療の分野においても、保険診療として齶蝕治療や歯周治療にレーザーを使用することが認められ、補綴領域ではCAD/CAMで補綴物を製作する場合の計測や加工、溶接などに応用されている。このようにレーザーは現在でも非常に便利なものであるが、今後レーザーがさらに改良されれば、どのようなことが可能となるのか考察してみたい。

連絡先： 三浦 宏之(岡田 大蔵)(摂食機能保存学分野 内線5521)